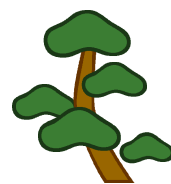


松風だより



令和3年9月17日

花巻市立南城小学校 文責：高橋 彰

『めっきり涼しくなりました！』

日中はまだ汗ばむくらいの気温にもなりますが、朝晩は肌寒さを感じるほど涼しくなり、寒暖差の大きい季節となりました。盆踊りや花火等の夏の風物詩も各地域の祭りや花巻祭りなど秋を感じさせる催し物もすべてが中止となってしまいましたが、季節は夏から秋に移り変わっています。

小学校体育連盟主催の水泳記録会や陸上記録会も中止となり、5・6年生が南城小学校の代表として活躍する活動場面も奪われてしまいました。

そこで、6年生などは学年水泳大会を開き、この夏の間向上した泳力を級友どうし確かめ合い、称え合う取り組みを行い、プール納めとしました。

また、課外陸上として放課後に陸上の基本練習や各種目の練習等に取り組み、陸上運動を通しての体力作りにも励んでいます。今後は「校内マラソン大会」に向けた全校運動等にも取り組むようになるので、秋にふさわしくスポーツを通じた丈夫な体作りを進めていきたいです。



6年生のプール納め



課外陸上として、放課後の練習に取り組み、汗をながす5・6年生（左からハードル、走り幅跳び、持久走）

タブレットを活用した学習が始まっています！

現在全国で急速に進められているGIGAスクール構想とは、義務教育を受ける児童生徒のために1人1台のPCと高速ネットワーク環境を整備する計画のことです。現在、市内のすべての小中学校に1人1台のタブレットが整備されました。本校でも1学期中に全台数の設定が完了し、いよいよ2学期から実際の授業の中でタブレットを活用した学習が始まっています。まだ高学年からの取り組みですが、子どもたちはすぐに慣れていくでしょう。インターネットで調べ学習をしたりカメラ機能を使って画像を取り込んだり、学習ソフトを使って習熟のための練習問題に取り組んだり活用場面は様々です。大型提示装置（大型テレビ）に教師や全児童のタブレット画面を映し出すこともできるのでみんなの思い（感想）や考え方等を交流することも可能です。今後、多くの学習場面で「情報活用能力の育成」と「ICT（情報通信技術）を活用した学習活動の充実」という2つの課題に向けタブレットを活用した学びを推進していきます。



市のICT支援員を招いてタブレット操作を学ぶ4年生

『いっぱい実ったよ！』収穫の喜び

2年生が校長室前の花壇で枝豆を育てていました。9月に入り、いっぱい実をつけた枝豆を学級ごとに収穫しました。2年生の子どもたちは、枝豆の茎の根に近い方を両手で握り、力一杯、それでいて大切そうに引き抜きました。引き抜いた後は、協力して枝豆を一つ一つ摘み取る作業をしました。小さくてかわいい赤ちゃん豆にもそれなりに実が入っています。大きな実やちょっと薄い実など様々でしたが、自分たちが育てた枝豆が予想以上にたくさんとれて、1組の子も2組の子もみんな大喜びでした。1人およそ30個ぐらい（またはもう少し多かったでしょうか）を家へのお土産として持ち帰りました。

「これはビールのつまみに喜ばれるな。」と余計な想像などをしてしまいましたが、各家庭で食べてみて味はどうだったでしょう。



宇宙へ行った白菜の種を植えました！

本校では賢治学習（宮沢賢治に関わる学習）の一つとして、賢治詩碑東側の北上川沿いにある「下ノ畑」にチーフ白菜（賢治が当時中国から仕入れたといわれる白菜）に近い品種の苗を植え付け、収穫する取り組みを十年近く続けてきました。数年前からその学習は3年生が行っています。仙台大学明成高等学校調理科の2人の先生に企画・準備をしていただき、下ノ畑保存会の方々のお力をお借りして毎年実施してきました。

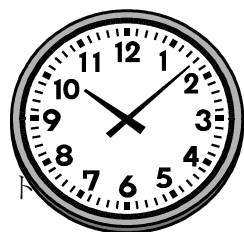
ところが、今年は苗の植え付けの時期（9月上旬）に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、岩手県独自の緊急事態宣言が出されており、安全を考慮して判断した結果、残念ながら3年生の苗の植え付けは行わないこととしました。9月3日（金）の午前中に下ノ畑保存会の方々が苗を植えてくださり、11月中旬の収穫の時期まで育てていただきます。ぜひ、11月までに大きく育った白菜の収穫には、3年生の子どもたちも一緒に参加して一人一人が刈り取る体験をできればと考えています。

また、苗の植え付けができなかった代わりにの取り組みとして、9月7日（火）に白菜の種をポットに植え付け、苗を作る活動をしました。その種というのがなんと宇宙を旅してきたものなのです。『東北復興宇宙ミッション2021』と題した復興庁の大規模事業の中の「東北の花や農作物の種などの記念品を宇宙ステーション（ISS）に打ち上げ、地上に回収後、地域活性化や震災の記憶と教訓の伝承に息長く活用する。」という目的で行われる取り組みの記念品の一つとして選ばれた松島白菜の種を植え付けて苗にする取り組みだったのです。3日ほどで芽を出したその白菜の苗は、今度は松島湾の浦戸諸島（塩竈市）にある野々島という島へ届けられました。そして、それは種をとるための白菜苗として育てられます（白菜は菜の花なので、ハチ等昆虫が受粉させることにより雑種化しやすいため、品種が変わらないように、90年以上前からずっとその島で育てられてきたのだそうです。）

来年からは、宇宙を旅したその白菜の種から育てられた苗（仙台市の小学校で種から育てた苗）を本校の子どもたちが下ノ畑に植えて育て、収穫するという取り組みに発展していくのだと思います。その一連の取り組みを宮沢賢治にあやかり、「星めぐりの白菜物語」プロジェクトと名付けているようです。今年の3年生は、種とり用苗作りの活動しかできませんでしたが、11月の白菜収穫を楽しみにしていただきたいと思います。



時間を大切に！（どうぞ、お家でも！）



9月10日（金）の全校朝会（校内放送による）で「時間を守る大切さ」について話しました。生活の崩れる兆しとして服装が乱れたり、身の回りの整理・整頓ができなくなったりすることがありますが、あっという間に悪くなっていくのは時間にだらしなくなることです。我々教職員も子どもたちと一緒に時間を守って行動することに努めていきます。

